

(様式1)

国保依田窪病院 倫理審査申請書

令和 5 年 7 月 3 日提出

国保依田窪病院院長

倫理委員会委員長 様

申 請 者

氏 名 飯島 千鶴

所 属 5 階病棟

職 名 看護師

※ 受付番号 No.

1. 課題名	患者が安心・安全に療養できる環境を整える取り組み
2. カテゴリー	☐ 疫学的な調査のための臨床研究 ☐ 診断及び治療法の効果を調べる臨床試験 ☐ 学会等提出論文 ☐ 委託研究または製造販売後調査 ☒ その他（院内研究提出看護研究）
3. 実施 責任者名	飯島 千鶴
4. 実施 分担者名	木次 由紀奈
5. 医療の概要	実施期間 令和 5 年 6 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日 まで 概 要 看護師毎に環境整備に対する個人の意識ややり方に差がある現状がある。対象者への危険予知訓練を行い、訓練前後でのアンケートの実施により患者に対して安全に配慮した個別的な環境設定が出来るようになるか明らかにする。
6. 医療の対象並びに実施場所	対象例数 19 医療対象 看護師 実施場所 5 階病棟
7. 実施計画書	添付資料参照
8. 医療における倫理的、社会的配慮について	(1) 医療の対象となる者の人権擁護 (2) 医療の対象となる者の理解と同意 (3) 医療の対象となる者に生ずる危険性と不利益に対する配慮 (4) その他 研究の趣旨を説明しアンケートの提出をもって同意を得たと見なす。提出が無くても業務上不利が生じないよう配慮する。
9. 審査資料	☒ 実施計画書 ☐ その他 ☐ 同意説明文書及び同意書

注意事項 1 1～5 は必ず記入し、ファイルをメールまたはメディアに保存し提出すること。

2 審査対象となる別添資料があれば、全て添付すること。（別添資料添付漏れのある場合審査できません。）

3 ※印は記入しないこと

環境整備についてのアンケート

去年より朝の一斉環境整備を始めておりますが、看護師毎に環境整備時の視点の違いが見られているのではないかと思います。患者様が安心・安全に過ごせる療養環境を整えるためにそれぞれどのような所に気をつけながら行っているかアンケートを取らせていただきたいと思います。以下の項目について環境整備時に意識して行っている事について当てはまる項目に丸をして下さい。なお、看護研究への参加は任意でありアンケートの提出を持って研究参加への同意とさせていただきます。アンケートで得た情報は個人が特定出来ないよう処理し看護研究に使用させていただきます。

1、室温

①意識している ②やや意識している ③どちらとも言えない ④あまり意識していない ⑤意識していない

2、明るさ

①意識している ②やや意識している ③どちらとも言えない ④あまり意識していない ⑤意識していない

3、におい

①意識している ②やや意識している ③どちらとも言えない ④あまり意識していない ⑤意識していない

4、音

①意識している ②やや意識している ③どちらとも言えない ④あまり意識していない ⑤意識していない

5、湿度

①意識している ②やや意識している ③どちらとも言えない ④あまり意識していない ⑤意識していない

6、ベッドの位置

①意識している ②やや意識している ③どちらとも言えない ④あまり意識していない ⑤意識していない

7、歩行補助具・車いすの位置

①意識している ②やや意識している ③どちらとも言えない ④あまり意識していない ⑤意識していない

8、テーブルの位置

①意識している ②やや意識している ③どちらとも言えない ④あまり意識していない ⑤意識していない

9、ナースコールの位置

①意識している ②やや意識している ③どちらとも言えない ④あまり意識していない ⑤意識していない

10、履物の位置

①意識している ②やや意識している ③どちらとも言えない ④あまり意識していない ⑤意識していない

11、ベッド柵がはまっているか、L字柵の位置

①意識している ②やや意識している ③どちらとも言えない ④あまり意識していない ⑤意識していない

12、床が濡れていないか

①意識している ②やや意識している ③どちらとも言えない ④あまり意識していない ⑤意識していない

13、シーツが皺になってないか

①意識している ②やや意識している ③どちらとも言えない ④あまり意識していない ⑤意識していない

14、ベッドストッパーがかかっているか

①意識している ②やや意識している ③どちらとも言えない ④あまり意識していない ⑤意識していない

15、歩行する導線上に障害物がないか

①意識している ②やや意識している ③どちらとも言えない ④あまり意識していない ⑤意識していない

16、洗面所に不要な物が置かれてないか

①意識している ②やや意識している ③どちらとも言えない ④あまり意識していない ⑤意識していない

17、ベッド上・テーブル・床頭台の上が片付かされているか

①意識している ②やや意識している ③どちらとも言えない ④あまり意識していない ⑤意識していない

18、上記の項目以外に意識している点がありましたら記入をお願いします。

ご協力ありがとうございました。

研究課題名(タイトル) 患者が安心・安全に療養できる環境を整える取り組み

主研究者(所属・名前)5 階病棟 飯島千鶴

研究概要

対象者へのアンケート→連日 KYT を行いカンファレンスの実施→対象者へ2回目のアンケート→1回目と2回目のデータの比較を分析→考察

研究の目的

患者に対して安全に配慮した個別的な環境設定が出来る。

研究の背景と根拠・意義

当病棟は地域包括ケア病棟にて高齢患者や認知症患者など転倒リスクの高い患者が多く入院している。しかし、看護師毎に環境整備に対する個人の意識ややり方に差がある現状がある。そのため患者が安心出来て安全に過ごせる環境設定が出来ていないのではないかと考えた。感染対策だけでなく安心・安全に療養できる環境を提供出来るようになるために研究に取り組む。

研究対象

自部署の看護師

観察・調査・検査項目と方法

対象看護師の中で同意の得られた者

無記名式の質問調査

平日は KYT を行いカンファレンスを施行

KYT とカンファレンス施行前後でアンケートの実施

対象患者数と研究期間

対象部署の看護師

2023 年 5 月～2024 年 1 月

評価項目

1. 環境整備に対する意識や行動が変わる。
2. 環境整備の質が上がる。
3. 看護師の環境整備に対する意識が向上する。
4. 個別性のある療養環境を整えられる。

5. スタッフで過ごしやすい環境作りについて話し合いが出来る。

(量的研究の場合)統計学的考察、(質的研究の場合)データ分析の方法

対象者へのアンケートを実施前後のデータをt検定を用いて分析を行う。

データ収集と管理方法

対象看護師へアンケートを配布し1週間以内に回収する。

倫理的事項

研究の目的等、前述の事項を書面で説明した上で自由回答とし、質問紙への回答をもって同意を得たとみなす。また、質問紙は無記名とし、得られた内容は本研究発表以外には使用しないほか、個人が特定されるような情報が研究担当者以外に知られることないように厳重に管理する。

研究費用

研究費用は受けない。

研究実施計画書の審査・承認・改訂

本研究は研究計画を事前に当院の倫理審査を受けてから実施をするものとする。研究計画を変更する際も同様とする。

研究の終了と早期中止

研究発表をもって終了とする。

研究に関する資料等の利用と保存

研究開始後より1年間鍵のかかるロッカーにて保存。し終了後はシュレッダーにて破棄する。

研究成果の帰属と結果公表

院内研究発表会にて主研究者が発表。

特記事項
文献

付録(必要に応じて添付)

.....